

第11回学術大会

3月19日(土)予定スケジュール		
10:10	シンポジウム第1部	<p>「アジア人の動物観」</p> <p>講演者 Sri Budi Lestari (インドネシア出身/東京外国語大学入学予定) 欧陽詠桃 (中国・香港出身/日本女子大学) Nguyen Lien Thi Houng (ベトナム出身/東京工業大学) Nuratfina (マレーシア出身/東京工業大学) ブリンチムッグ (中国・内モンゴル出身/東京学芸大学)</p> <p>コメンテーター 秋道智彌 (総合地球環境学研究所/ヒトと動物の関係学会会長)</p> <p>司会 石田戢 (東京都多摩動物公園)</p>
12:30	昼食・休憩(12:30~15:00) ワークショップ(13:00~14:45) (ランチョンセミナー) (7号館A棟104/105教室)	<p>「人と馬の新たな共生」</p> <p>パネリスト 柏村文郎(帯広畜産大学畜産学部) 西村啓二(日本中央競馬会美浦トレーニングセンター) 太田恵美子(RDA Japan) 兵藤哲夫(日本動物福祉協会)</p> <p>司会 徳力幹彦(日本大学生物資源科学部)</p> <p>総括 本好茂一(日本獣医畜産大学名誉教授)</p>
15:00	一般口演	9演題
17:30	終了予定	
18:00	懇親会	
3月20日(日)予定スケジュール		
9:30	シンポジウム第2部	<p>「野生動物絶滅危惧種と共生する農村整備システム—ツシマヤマネコ、コウノトリ、トキの新しい展開と課題」</p> <p>講演者 松木洋一(日本獣医畜産大学)</p> <p>『ツシマヤマネコと共生する農村整備計画』 池田啓(兵庫県立大学)</p> <p>『コウノトリの里整備の現状と計画』 本間航介(新潟大学附属フィールド科学教育研究センター)</p> <p>『トキの野生復帰と農村整備計画』 名執芳博(環境省)</p> <p>『野生動物の保護政策の現状と方向』 高嶺彰(農林水産省)</p> <p>『農村整備政策と野生動物との共生』</p> <p>座長 中川志郎(茨城県立自然博物館)</p>
12:00	昼食・休憩・理事会 評議員会(12:30~)	
13:00	学会総会(13:00~13:30)	
13:40	パネルディスカッション	<p>「人は動物の何に魅かれるか—動物園での成功する企画—」</p> <p>講演者 小菅正夫(旭山動物園) 『動物の何を見せるか』 若生謙二(大阪芸術大学) 『動物園展示で表現すること』 石田戢(東京都多摩動物公園) 『動物観の調査から見た日本人の好む動物像』</p> <p>パネラー 牧慎一郎(市民ZOOサポートネット)</p>
16:00	一般口演	4演題
17:15	終了予定	